

**広島市感染症週報**

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり3.47人の報告があり、前週と比べるとほぼ横ばいです。手洗い、換気など、基本的な感染予防対策に取り組みましょう。

2 ヘルパンギーナ

定点当たり2.13人の報告があり、増加が続いています。手洗いの励行、オムツの適切な処理など、感染予防対策を心がけましょう。

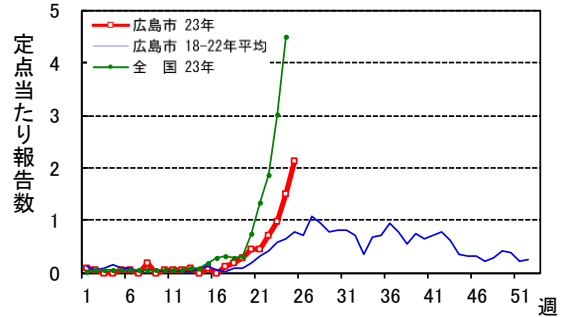
3 手足口病

定点当たり0.71人の報告があり、前週と比べて増加しました。例年夏季に増える傾向があり、この疾患にかかりやすい年齢層の乳幼児が集団生活する保育園や幼稚園などでは、特に注意が必要です。手洗いの励行、オムツの適切な処理、タオルの共用を避けるなど、感染予防対策を心がけましょう。

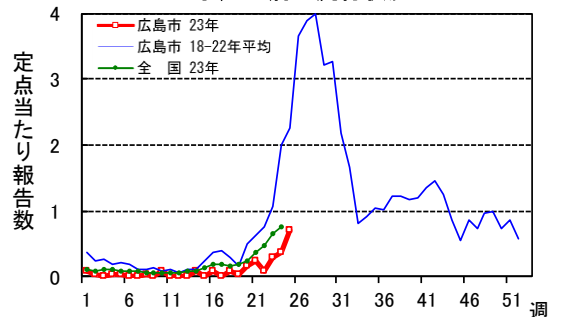
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり3.54人の報告があり、多い状況が続いています。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

ヘルパンギーナの流行状況



手足口病の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
インフル	インフルエンザ	44	1.22	-	↗	小児科	ヘルパンギーナ	51	2.13	0.78	↗
	新型コロナ(COVID-19)	125	3.47	-	↗		流行性耳下腺炎	1	0.04	0.14	
小児科	RSウイルス感染症	55	2.29	0.92	↗	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	9	0.38	0.56			流行性角結膜炎	7	0.88	0.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	85	3.54	1.41	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	113	4.71	4.32	↗		無菌性髄膜炎	1	0.14	-	
	水痘	2	0.08	0.21			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.03	
	手足口病	17	0.71	2.26	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	3	0.13	0.45							

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔	↔	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	62	60歳代・2人、80歳代・1人、90歳代・1人
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	9	10歳未満
5	梅毒	4	130	40歳代・2人、50歳代・1人、70歳代・1人

## ■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	新型コロナウイルス(COVID-19)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	球菌咽頭炎	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
		第21週	112	80	59	21	73	121	3	6	-	6	11	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
第22週	71	95	78	13	88	109	1	2	-	8	17	2	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	
第23週	74	121	89	12	88	139	10	7	-	6	23	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
第24週	69	119	84	9	91	119	3	9	-	7	36	2	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	
第25週	44	125	55	9	85	113	2	17	-	3	51	1	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	
定点当たり	広島市	3.20	2.29	2.46	0.88	3.04	5.04	0.13	0.25	-	0.25	0.46	-	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-
第22週	2.03	2.71	3.25	0.54	3.67	4.54	0.04	0.08	-	0.33	0.71	0.08	-	0.25	-	0.14	-	-	-	-	-	-	
第23週	2.06	3.36	3.71	0.50	3.67	5.79	0.42	0.29	-	0.25	0.96	0.08	-	0.38	-	-	-	-	-	-	-	-	
第24週	1.92	3.31	3.50	0.38	3.79	4.96	0.13	0.38	-	0.29	1.50	0.08	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	
第25週	1.22	3.47	2.29	0.38	3.54	4.71	0.08	0.71	-	0.13	2.13	0.04	-	0.88	-	0.14	-	-	-	-	-	-	
全国	第23週	1.36	5.12	2.65	0.69	1.68	6.29	0.13	0.66	0.02	0.31	3.02	0.08	0.02	0.35	0.02	0.03	0.06	-	-	-	0.01	
第24週	1.29	5.60	2.90	0.66	1.62	5.77	0.13	0.77	0.02	0.31	4.50	0.09	0.01	0.35	0.01	0.03	0.05	-	-	-	-	-	

## ■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査：広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ、感染性胃腸炎	発熱(39.4℃) 上気道炎 嘔吐 下痢	3	2023/05/13	咽頭拭い液 糞便	インフルエンザウイルスA(H3)型 アストロウイルス
インフルエンザ	発熱(38.5℃)	3	2023/05/25	鼻汁(拭い液)	インフルエンザウイルスA(H3)型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

## 【参考】広島市における梅毒の発生動向について

今年の累計報告数は130件となり、多い状況です。年齢別では、男性は40歳代、女性は20歳代が最も多くなっています。梅毒は、主に性的接触により、口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。早期の治療で完治しますが、治療をしないまま放置すると、心臓や血管、脳などの臓器に病変が生じ、時には死に至ることもあります。

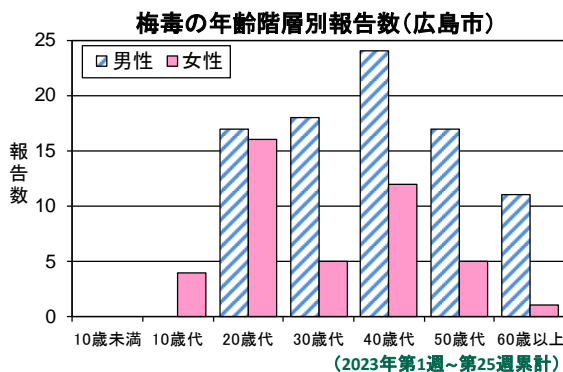
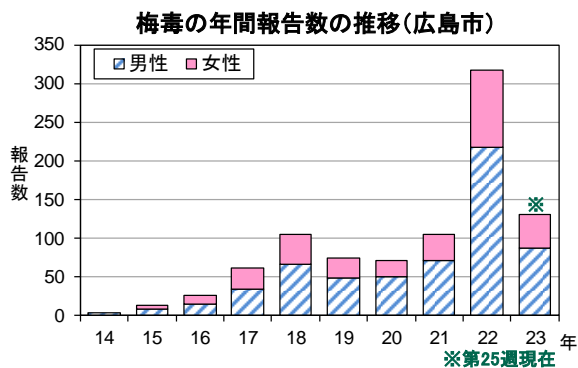
また、妊娠している人が感染すると、死産や早産になったり、生まれてくる子どもの神経や骨などに異常をきたす先天梅毒になることがありますので、感染予防と早期発見・早期治療が大切です。

### 保健センターの無料・匿名の梅毒検査

広島市の各区保健センターでは、無料・匿名の梅毒検査を実施しています。

詳しくはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/soshiki/72/2986.html>



### 新型コロナウイルス(COVID-19)感染症の相談窓口

発熱時等の受診相談「受診案内・相談ダイヤル」

TEL 082-241-4566

(24時間対応)

療養者からの相談「療養者相談ダイヤル」

TEL 0570-000-510

(健康相談 24時間、一般相談 8:30～18:00)

「新型コロナウイルス感染症に関する情報」(広島市) <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>



本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>



【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2023年第25週(6月19日～6月25日)